

## 令和7年度 支援金交付団体及び支援金使用実績額一覧

No.	団体名	A 支援金使用事業				B 支援金精算額			
		事業名	事業概要	所要経費 (支出ー収入)	支援金 充当額	支援金交付額 (前年度繰越額 を含む)	使用 実績額	差引額	備考
1	全銀座会	銀座八丁神社めぐり(リーフレット制作)	10月24、25日に行う銀座八丁神社めぐりのために通年で使えるガイド来街者向けのマップ(リーフレット)を1万部作成。銀座1～8丁目に点在する神社を来街者が参拝し周遊することで銀座の魅力を周知。	237,765円	35,000円	35,000円	35,000円	0円	
2	一般社団法人銀座通連合会	銀座通りの栽植帯(花壇)のメンテナンス	2021年3月に新しく整備した銀座通りの栽植帯(花壇)の栽植・捕植など、維持メンテナンスを行った。	333,300円	7,000円	7,000円	7,000円	0円	
3	特定非営利活動法人言論NPO	言論フォーラム勉強会等	中央区内の事務所会議施設を利用し、本年度も日本を代表する各界の有識者を招請し「言論フォーラム」を継続的に実施し、令和7年度は18回開催し、延485人が参加した。さらに、中国勉強会を5回、国際課題勉強会を3回、特別フォーラムを1回開催し、延163人が参加する等、様々なテーマで議論を行った。また、今年度から無料登録者向けのセミナーも1回実施し、54人の方に参加いただくなど、日本や世界が直面する課題に対して、学んだり意見交換する機会を提供。	860,856円	860,856円	21,002,000円	21,002,000円	0円	
		第21回東京ー北京フォーラム	11月16日午後中国側実行委員会より急遽書簡が届き、日中政府間関係の急激な悪化から、11月17日に予定していた「第21回日中共同世論調査結果」の記者会見での発表、並びに11月22日(土)～24日(月・祝)に開催を予定していた「第21回東京ー北京フォーラム」は延期となった。「東京ー北京フォーラム」は過去20年間、途切れることなく毎年開催されてきたことから、今回のフォーラムが延期となったことは、内外に大きな衝撃を与え、40件近いメディアで報道された。さらに、「最後の砦」とも評されるなど、本フォーラムの重要性が改めて示された。現在、対話の再開に向けて交渉を行っている。	0円	0円				
		東京会議2026	今回の会議は、トランプ大統領によるイランへの軍事行動などを背景に国際情勢が緊迫する中、国際協調と世界の結束の重要性を日本から発信する機会となった。今回の会議には、欧州、アジア、アメリカなど約20か国から現職を含む有力な政治リーダーはじめ、第一線の専門家が一堂に会し、今後の国際秩序の在り方から、世界経済、新技術に至るまで喫緊の課題について対話を行い、国内外の多くのメディアにおいても高い評価を受けた。また、この会議の直前に開催された「ミュンヘン安全保障会議」等取材した多くの記者からも、本会議は多くの世界会議に匹敵する、アジアと世界を代表する国際会議として強い関心と評価を得る結果となった。さらに本年は、岸田文雄元首相とユドヨノ元インドネシア大統領を共同議長とする「アジア円卓会議」を初めて開催し、アジアが主体的に世界に発信する新たな歴史的枠組みを東京において立ち上げた。その中で、「アジアはもはや沈黙すべきではなく、受け身にとどまるのではなく、自らの声をもって国際社会に関与し、ルールに基づく国際秩序の維持・強化に主体的に貢献すべきである」との強い共通認識が形成され、東京からそのメッセージを発信することができたことは大きな成果となった。さらに「東京会議2026」の開催に先駆けて、2026年1月23日から2月23日にかけて世界36団体の協力のもと、「国際秩序と大国関係の将来像」に関する専門家アンケートを実施し、26カ国293名から回答をまとめた調査結果も公表した。今回の調査結果から、力の秩序が前提となる中で、世界がG2へ収斂するのではなく、多極化へ拡散し、勢力圏化を伴う不安定な均衡へ向かっているとの認識が明らかになった。	28,721,988円	20,141,144円				

## 令和7年度 支援金交付団体及び支援金使用実績額一覧

No.	団体名	A 支援金使用事業				B 支援金精算額			
		事業名	事業概要	所要経費 (支出ー収入)	支援金 充当額	支援金交付額 (前年度繰越額 を含む)	使用 実績額	差引額	備考
4	学校法人至善館	日本橋に学ぶ	<p>&lt;概要&gt; 奨学金制度を活用し、大学院に日本橋を含めた全国各地域、そして世界から多様なバックグラウンドを持つ学生を呼び込み、多様な価値観が混じり合う学びの環境をつくる。</p> <p>&lt;内容&gt; 中央区や日本橋地域枠、海外枠、パブリック/ソーシャルセクター枠等の対象学生に奨学金を付与→ 様々なバックグラウンドの学生が加わり、「日本橋と共に活動する」や「日本橋に集う」の活動との相乗効果を生み出している。</p>	57,307,000円	22,300,000円	27,496,000円	27,496,000円	0円	
		日本橋と共に活動する	<p>&lt;概要&gt; 修士プログラムにおける幾つかのコースワークやワークショップ、さらには学外活動を通じ、多様な学生と地域コミュニティとの交流・相互触発の機会を提供し、日本橋が異質な価値観を繋ぐ架け橋となり、世界の中の日本の今後を考える中心地とする。</p> <p>&lt;内容&gt; ・老舗企業等の地域コミュニティと連携した協働ワークショップの企画・実施 ・学生および至善館関係者の地域行事への参加、オープンキャンパスなど地域との交流機会の創出 1.構想を具現化する力(DESIGN)の授業では、1年次の学生が、PBL(Project Based Learning)の手法を用い、日本橋の現状を検証し、新たな提案を考えるというプロジェクトを実施している。 2025年は、「20～30代の若者をさらに日本橋に呼び込み、長時間の滞在及びエリア回遊を促す体験デザイン」という想定において、学生たちは、江戸期以来ヒト・モノ・コトが集積し発展してきた日本橋の歴史的背景や、近年の再生計画により形成された新たな価値創造の基盤を踏まえ、他都市にはない独自性・優位性を見出し、それを訴求する観点から体験デザインを提案した。グループ毎に、日本橋地区の老舗企業を訪問し、インタビューをするなど、積極的にプロジェクトに取り組み、最終発表会でのプレゼンテーションで講師から講評を受けることで、提案をさらに深化させた。 2. 神田祭の神幸祭に参加し、錦旗担ぎや山車曳きとして東京中心部を巡行した。地域に根ざした伝統行事を通じて、日本橋コミュニティとの結びつきを深める機会となった。また町会の行事に参加、地域の方々とのコミュニケーションを図った。</p>	3,507,870円	1,700,000円				
		日本橋に集う	<p>&lt;概要&gt; 地域コミュニティに開かれた大学院として、地域公開講座を運営し、日本橋に住む/働く、世代・セクター・国籍(地域)を越えた人々が集う場とすることで、啓発・切磋琢磨の機会を創出する。</p> <p>&lt;内容&gt; 地域公開講座の企画・実施 *オンラインまたは対面1ヨガ&amp;瞑想教室、座禅教室の実施 *合計16回開催(各回約20名が参加) 2公開授業/フォーラムの企画・開催 至善館およびそのユニークな教育の認知度を高めるために、正規授業の短縮版を、至善館教授陣が公開授業として実施。 合計52回開催(延べ500名) 3その他(オフラインイベント) 学生が主催する恒例のCulture Dayを開催。多国籍な学生が集まり、それぞれの文化や伝統的な食べ物、飲み物を紹介した。家族や友人、大学の教職員等が参集しダイバーシティあふれる雰囲気の中で交流を深めた。(延べ約150名)</p>	6,078,960円	3,496,000円				
5	公益社団法人難病の子どもとその家族へ夢を	難病児・医療的ケア児を持つ母を支える為のメンタルケア及び相談室開設	先天性疾患児や医療的ケア児を持つ母が、日常的に困ったことや不便に思っていること、医療や制度上の相談等が受けられるように、1カ月に1回看護師を入れた形での相談室を開設する。ここでは、母達の精神的ケアができるようにサポートをしていく。 開催回数:年に10回、実施場所:当法人オフィス	25,000円	7,000円	7,000円	7,000円	0円	
6	特定非営利活動法人中央区森の応援団	森林保全活動等の普及・啓発事業	中央区まるごとミュージアムにおいて、中央区の森と間伐材について話し、森林保全活動の必要性などを学ぶ場を提供。その後、檜原村産の間伐材で卓上サイズのクリスマスツリーとオーナメントを作る。	81,232円	7,000円	7,000円	7,000円	0円	

## 令和7年度 支援金交付団体及び支援金使用実績額一覧

No.	団体名	A 支援金使用事業				B 支援金精算額			
		事業名	事業概要	所要経費 (支出ー収入)	支援金 充当額	支援金交付額 (前年度繰越額 を含む)	使用 実績額	差引額	備考
7	日本橋地域ルネッサンス100年計画委員会	日本橋地域ルネッサンス100年計画委員会幹事会会議の開催	日本橋地域全体の発展と文化の継承街づくりなどのため、七部連合町会長、主な団体幹部が協議、検討を行う。 会議構成員:約50名	7,000円	7,000円	7,000円	7,000円	0円	
8	一般社団法人地域防災支援協会	「地域防災サポーター」養成講座の開催	地域防災における自助や共助を推進するために公開型の養成講座を行うことを目的とした「地域防災サポーター」制度の創設を行った。今年度は本制度の狙いを、過去の災害現場で得られた貴重な教訓や、被災された方々の生きた「声」を共有し、地域防災サポーターの輪を広げることで地域の備えに役立てることとし、3月に公式サイトを公開を行った。 ( <a href="https://bosai-supporter.jp/">https://bosai-supporter.jp/</a> )	165,000円	28,000円	28,000円	28,000円	0円	
9	銀座西並木通り会	低木ボックスウッド維持管理	植樹樹に植栽のボックスウッドが街路のアイラインを緑に装飾しているが、並木下低木剪定、低木消毒による緑地管理を実施。また時間経過とともに枯れたり倒木で土壌露出した箇所にも苗木を補植し景観を改善。	563,500円	400,000円	1,400,000円	1,400,000円	0円	
		歩道清掃業務	快適で魅力ある並木通りの美化、風格ある赤御影石の美しさを保つことを目的とし、銀座並木通り5丁目から8丁目歩道の清掃、洗浄の実施。	3,200,000円	1,000,000円				
10	公益財団法人日本対がん協会	がん相談ホットライン2024年度年報作成	がん相談ホットラインの活動内容の報告書	262,779円	250,000円	700,000円	700,000円	0円	
		がん相談ホットラインリーフレット	がん相談ホットラインの説明	135,700円	130,000円				
		関連情報(年報、リーフレット)の送付	上記、がん相談ホットライン年報およびがん相談ホットラインリーフレット	353,002円	320,000円				
11	一般財団法人国際セラピードッグ協会	社会貢献を行う分野の事業「中央区における社会福祉と動物愛護啓発活動のためのセラピードッグの育成及び活動」	殺処分寸前の捨て犬達を救助しセラピードッグへ育成後、中央区において年間約4,000名の高齢者や障がい者の方々の心身のケアにあたった。又中央区と共の動物愛護特別イベントや子供達の動物愛護啓発活動にも精力的に取り組んだ。今後さらに区における活動の継続と拡大のためには、日々のセラピードッグの育成と医療ケア、そしてハンドラー(セラピードッグの指導員)の育成が大変重要になり、より一層重点的に取り組んでいく必要があると考えている。そのことが中央区における社会福祉のセラピードッグ活動や動物愛護の講演会・啓発活動、小中学校の子供達の動物愛護教育等の活動に大きく貢献できることにつながっていくと考えている。又中央区の社会福祉に大きく貢献したセラピードッグ達は、高齢や病気で現役を引退した後、当協会において最後の看取りまで最良の医療とともに献身的なケアを行う。中央区の動物愛護と社会福祉のために今後も捨て犬達の救助とセラピードッグ育成、動物愛護の啓発活動に尽力していく。 「セラピードッグ育成及びメディカルケア等対象数:30頭」	36,000,000円	1,100,000円	1,151,000円	1,151,000円	0円	
		社会貢献を行う分野の事業「動物愛護特別イベント セラピードッグフェスタの開催」	中央区と共に長年推進している動物愛護啓発活動の一環として、大木トオル代表の動物愛護特別イベント「セラピードッグフェスタ」を開催した。当日は動物愛護啓発としてセラピードッグたちのパレード行進やパネル展、セラピードッグたちとの交流などを行った。 会場 日本橋高島屋 定員 100名 実施回数 1回	600,000円	51,000円				

## 令和7年度 支援金交付団体及び支援金使用実績額一覧

No.	団体名	A 支援金使用事業				B 支援金精算額			
		事業名	事業概要	所要経費 (支出ー収入)	支援金 充当額	支援金交付額 (前年度繰越額 を含む)	使用 実績額	差引額	備考
12	一般社団法人El Sistema Connect	ホワイトハンドコーラスNIPPON	障がいの有無や経済的環境、国籍等に関係なく、6-18歳の子どもの中心に無償で音楽ワークショップ(WS)を提供。多様な子どもが芸術活動を行うことによって、共生社会へのメッセージを広く発信する。東京芸術劇場との共催事業。ろう学校や盲学校に通う児童、生徒を中心に手話部のメンバーや障がいを持つ子どもの兄弟など40名(東京)が在籍。プロの音楽家、俳優、パフォーマーなど12名で指導を行う。依頼公演等への出演も行う。中央区在住の子ども達も参加しており今後更なる参加を呼びかけるため地元ワークショップの開催など展開。	12,400,000円	800,000円	878,000円	878,000円	0円	
		ポッシボの学校 ①講義コース ②ゼミコース	DEIを身近な人権の問題として理解し、新たな視点をもたらす大人の学びの場として『ポッシボの学校』を運営する。 ①企業のDEI担当者、教育関係者、音楽教育関係者、表現者などを対象とした、各回特別ゲストによる講義コースを年10回開催 ②多様な子ども達と関わる方々を応援し、仲間を増やしていくコミュニティ形成を目的に6月より月2回開催	600,000円	78,000円				
13	認定特定非営利活動法人キッズドア	ファミリーサポート事業(困窮子育て家庭支援)	東京都中央区を含む全国の、住民税非課税世帯や生活保護受給世帯をはじめとした困窮子育て家庭・5,105世帯が登録。年間を通じて生活の安定・向上をサポートする物資支援・情報支援・体験活動・就労支援を提供した。 ●夏休み・年末年始の食料支援を含む物資支援 物資支援企画:35回/延べ10,975世帯 ●支援情報の配信やオンラインセミナーによる情報支援 情報配信:281回/セミナー参加者:延べ1,111名 ●スポーツやレジャーに無料招待する体験活動支援 体験活動の提供:105回/参加者:延べ2,931名 ●保護者の就転職をサポートする就労支援 就労支援プログラムの参加者:延べ151名	41,481,449円	5,681,000円	5,681,000円	5,681,000円	0円	
14	一般社団法人日本母乳バンク協会	ドナーから寄附された母乳の保管	全国のドナー登録施設で面接、血液検査を受け、クリアした方だけが登録される。搾母乳は母乳バンク協会に配送され、清潔かつ温度条件に留意して保管される。	4,402,700円	217,000円	217,000円	217,000円	0円	
15	一般財団法人 平和・安全保障研究所	月例研究会の開催	毎月一回、オンラインで外交・安全保障を中心とした平和に関する課題をテーマに研究会を開催。講師には国内外で活躍する専門家を招聘し、講演と質疑応答、議論を行うことで、区民及び広く一般の人々が、その時々々の身近な国際問題について深く学ぶ場を、アクセスが容易な形で提供した。参加者は各回約15名(講師含む)。	797,868円	756,000円	756,000円	756,000円	0円	
16	NPO法人育てる芝生-イクシバプロジェクト	黎明橋イクシバプロジェクト 種まき	年間を通じた芝生の維持管理活動を地域の住民と一緒にボランティア活動を実施。芝刈りや、雑草取り作業、散水や施肥などを様々な世代の住民が共に行うことで地域つながり緩やかなコミュニティの創出にも寄与した。秋には夏芝の上に冬芝の種をまき、夏芝の保護と常緑の芝生環境を作った。	100,000円	28,000円	28,000円	28,000円	0円	
17	NPO法人 Community Yoga Tokyo	コミュニティヨガクラス	コミュニティスタイルのヨガクラスの開催	7,360円	2,000円	2,000円	2,000円	0円	
18	一般社団法人KOREWOKINI	東銀座にてソーシャルバーの運営	東銀座にてソーシャルバーの運営を実施。 1日店長が運営を行うソーシャルバーを運営し、地域の方々との繋がりを生み出す「場」を提供していく。 東銀座付近の飲食店と協業し、飲食の提供やイベントの開催を行い、昼はカフェ、夜間はレストランやバーの運営を行っていく。上記の活動をもとに地域の方向士のコミュニティを作り上げていく。 参加数:1200名	610,000円	145,000円	145,000円	145,000円	0円	

## 令和7年度 支援金交付団体及び支援金使用実績額一覧

No.	団体名	A 支援金使用事業				B 支援金精算額			
		事業名	事業概要	所要経費 (支出-収入)	支援金 充当額	支援金交付額 (前年度繰越額 を含む)	使用 実績額	差引額	備考
19	一般社団法人 日本温泉気候物理 医学会	第2回ウォーキング大会	当学会の会員の皆様に中央区の魅力を知って頂くため、ウォーキング大会を開催。コース: 浜町公園(挨拶・ストレッチ)→人形町→日本橋三越(トイレ休憩)→福德神社・薬祖神社→日本橋→京橋→ヤン・ヨーステン記念碑→コリドーの湯(昼食・体験入浴)参加者13名	112,261 円	40,000円	364,000円	364,000円	0円	
		市民公開講座	一般の方向けに、温泉療法、入浴に関する講座をYouTubeより配信。	191,413 円	184,000円				
		第91回総会・学術集会	会員の方だけでなく、会員以外の温泉に興味のある方に、学術集会を開催。開催場所は、横浜市内であったが、その後、Web上でオンデマンド配信の期間を設けた。	168,300 円	140,000円				
20	認定NPO法人アクセプト・インター ナショナル	海外の紛争地等での活動実践及びそれをもとにした平和構築に関する政策提言	ソマリア、イエメン、ケニア、インドネシア、コロンビア、パレスチナなどの国々で武装勢力に関わった子ども・若者が暴力から離脱し、平和の担い手として地域社会と共生していくための支援を実施するとともにそうした活動から得られた知見を中央区から世界に発信し新たな国際規範を創るための取り組みを行う。 ・受益者:約1万人 ・国際会議や対話会合の開催:年間5回	64,328,640 円	895,000円	1,015,000円	1,015,000円	0円	
		平和・人権意識および他者との共生に向けた意識向上のための啓発イベント開催口	区内の会場にて、区民をはじめとした一般の方々に向けた無料の啓発イベントをオンライン含め月7回程度実施することにより、平和・人権意識および他者との共生に向けた意識の向上を目指す。 ・区内での対面イベント参加者:142名 ・オンラインでのイベント参加者:1128名	4,910,460 円	120,000円				
21	NPO法人 Team WADA	医療語学学習機会の提供	医療に関する仕事、面接等に使用する言語を学ぶ機会を提供。特に英語を中心に教えた。(オンライン開催)	7,000 円	7,000円	7,000円	7,000円	0円	
合 計				—	60,933,000円	60,933,000円	60,933,000円	0円	